

# 経営比較分析表

佐賀県 鹿島市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	公共下水道	Co2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	32.78	95.73

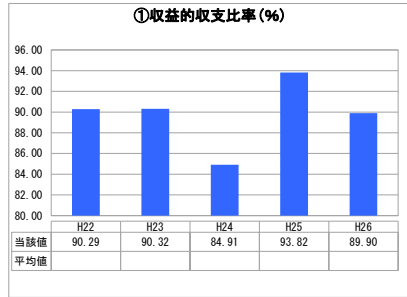
1か月20m<sup>3</sup>当たり家庭料金(円) 2,592

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,829	112.12	274.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,032	2.76	3,634.78

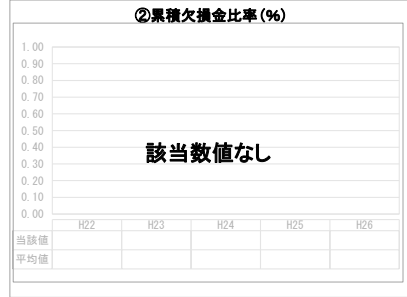
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成26年度全国平均

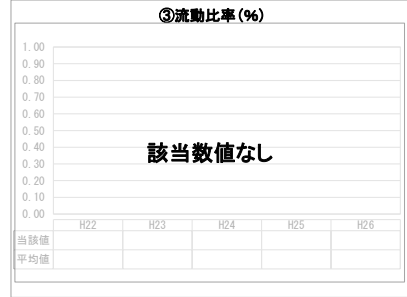
## 1. 経営の健全性・効率性



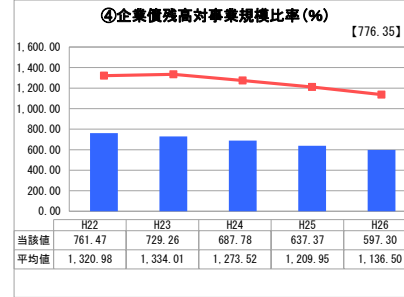
「単年度の収支」



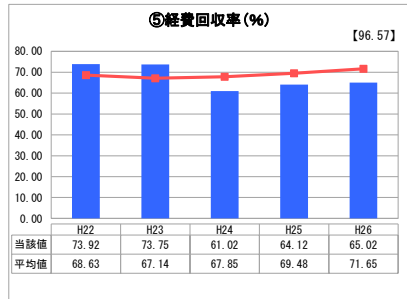
「累積欠損」



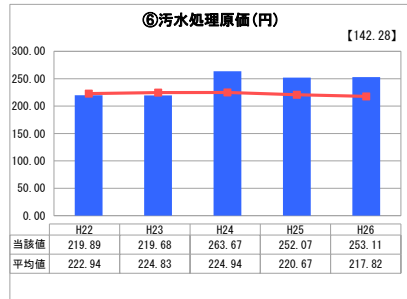
「支払能力」



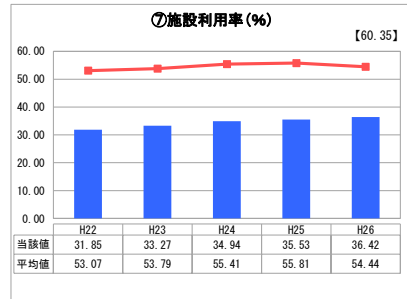
「債務残高」



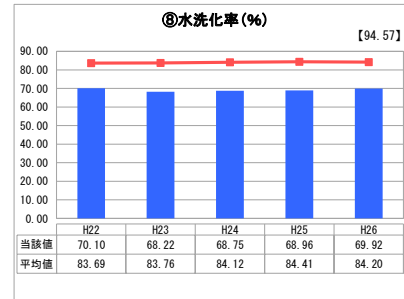
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

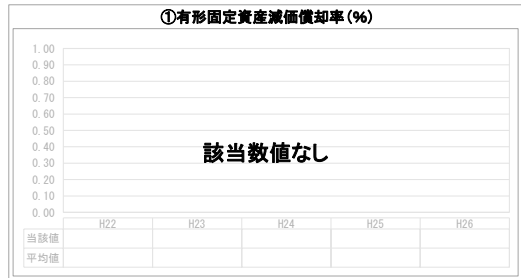


「施設の効率性」

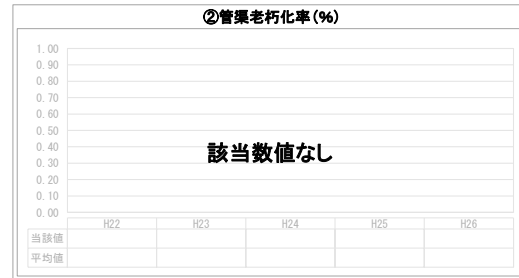


「使用料対象の捕捉」

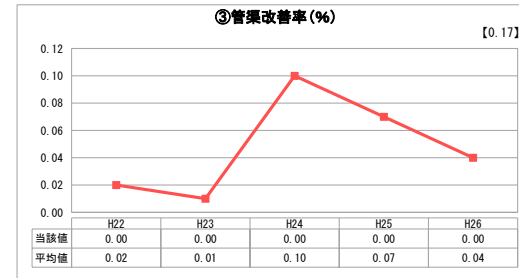
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

昭和61年度の事業開始以来、29年が経過していますが、事業進捗率は41%と低いため、施設利用率が平均値を下回っています。今後は低コスト型下水道を導入して事業を進捗させ、接続者数(料金収入)を増やし、経営の効率性の向上(経費回収率の向上や汚水処理原価の低減など)を目指します。

### 2. 老朽化の状況について

平成6年度の供用開始以来、22年が経過し、機械・電気設備に耐用年数を経過したものが出てきていますが、これまで十分な更新を行っていないのが現状です。そのため企業債残高対事業規模比率が平均値を下回っている状況です。今後は長寿命化計画に基づく計画的な更新を実施し、持続可能な下水道事業を目指します。

### 全体総括

本市の公共下水道事業は、雨水対策を優先して行ってきたため、汚水事業の進捗状況が遅くなり、浄化センターなどへの投資に見合う十分な接続者数を確保できていないことが、収益的収支比率・経費回収率・汚水処理原価・施設利用率の数値の悪化につながっているものと分析します。今後は、全体計画区域を見直し早期概成を目指すとともに、接続者数を増やし経営の効率化に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。